

# 刊行にあたって

---

近年、アライナー矯正はその審美性・快適性・可撤性といった利点から急速に普及しています。なかでもインビザライン・システムは、AIを活用した治療計画の可視化や精度の高いアライナー製作技術により、一般臨床医にとっても導入しやすい矯正手法となりました。

しかし、アライナー矯正を導入したばかりの多くの方が直面するのは、「何を、どの順序で、どのように進めればよいのかわからない」「クリンチェックの評価基準がわからない」といった不安ではないでしょうか。治療計画の立案やクリンチェックの作成、アタッチメントの設置、患者指導、モニタリング……。私自身もインビザラインを始めた20年前、同じような不安を抱えながら多くの先生にご教授いただき、試行錯誤を重ねていたことを思い出します。

本書は、そのような導入初期の不安や迷いを解消し、安全かつ確実にアライナー矯正を習得するための“最もやさしい教科書”です。

1章の「診療室の手引き」は、治療開始からフォローアップまでのチェアサイド業務を体系的に整理し、臨床のノウハウをわかりやすくまとめたビジュアルBOOKとなっています。テキストで治療の流れを理解し、QRコードから実際の手技動画をご覧いただくことで、より実践的な手技習得にお役立てください。

2章の「臨床ケースファイル」では、典型的な12症例を通じて、診断・治療計画・クリンチェックのKey Pointと解説をまとめ、QRコードからクリンチェック動画を閲覧できるようにしました。加えて、実際の診療で行ったリカバリーや顎間ゴムなどの臨床テクニックについても具体的に解説しています。

3章では、読者の先生方からいただいたご質問に答えるQ&A集を掲載しました。臨床現場での疑問を解消し、より自信をもって診療に臨んでいただける内容となっています。

アライナー矯正が普及し、進化を続けるいまでも、必ず身につけなければならない基礎や診療において大事なことは変わりません。この一冊を手元に置き、診療の流れに沿って活用していただくことで、アライナー矯正の基本的な診療技術と臨床判断の要点を自然と習得していただける構成としました。

本書がドクター、スタッフの“迷い”を“自信”に変える一助となれば幸いです。

2026年2月

上田 桂子